

今後の食育推進施策について 最終取りまとめ (概要)

平成27年3月
株式会社三菱総合研究所

食育推進施策に関する有識者会議報告書の概要

背景

- 女性の社会進出、単身世帯の増加
- 食の外部化・簡便化の進展
- ライフスタイルの多様化による食生活の変化

課題

- 「日本型食生活」の周知度・実践度の低下
- 農林水産業についての国民の理解の希薄化
- 地域の伝統的な食文化の衰退

検討の概要

有識者が、調査結果やこれまでの食育施策の検証、今後の食育推進施策を検討。

生活者アンケート調査

20歳以上の男女約3千人に、食生活や食料消費の実態を把握するための調査を実施。

今後の方向性

食育実践者と連携して取組を推進。

食への関心が低い層を中心に、消費者の多様な特性・ニーズに応じた食育の推進

- わかりやすく、実行性の高い「日本型食生活」の推進
- こどもからシニアまで体験活動を推進

● 食文化の保護・継承

先進事例調査に基づき手引きを作成し、取組を推進。

● 食品安全

食中毒、その他食品由来のリスクに関する情報提供。

わかりやすく、実行性の高い「日本型食生活」の推進

委員の声

- ・「日本型食生活」について定義が不明確であり、国民に認知されているかは疑問。
- ・日頃の食生活に活かせる手軽に取り組めるような情報を提供すべき。

調査データから見てきたイエローカード

- 日常的な欠食がある
- 夕食で外食、中食など※が多い
- ごはん食が少ない
- 調理ができない

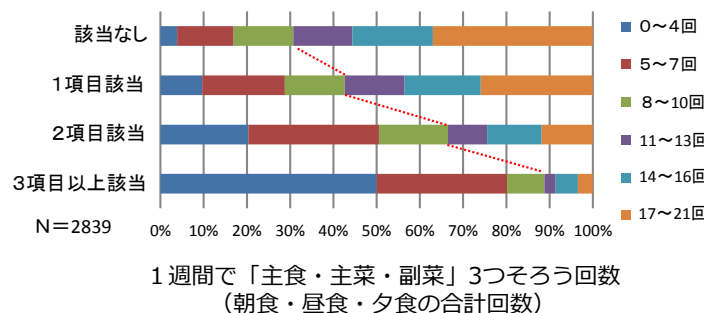
※外食、中食、冷凍・レトルト食品、缶詰、インスタント食品

複数の食習慣に
当てはまると、
アウト!



栄養バ
ランス
への気
づき

「4つの食習慣」を1つ
以上持つ人は、主食・主
菜・副菜をそろえて食べる
頻度が低い。



処方箋

(日本型食生活の理解)

- 主食・主菜・副菜をそろえるメリットをわかりやすく伝える。

(日本型食生活の実践)

- 外部サービスもかしこく活用。
- 「食事を準備する力」の向上も重要。

日本型食生活とは

ごはんを中心に、魚、肉、牛乳・乳製品、野菜、海藻、豆類、果物、茶など多様な副食などを組み合わせ、栄養バランスにも優れた食生活。

一食や一日
単位でなく、
一週間の中で

冷凍食品や
レトルトを
使っても
OK!

ごはん食は
主菜・副菜が
そろいやすい

子どもからシニアまで体験活動を推進

委員の声

- ・ 教育ファームなど質の高い体験を通じて農業が「食」を支えているという理解を進めるべき。
- ・ 子どもの教育ファームでの体験が親に伝わらなければ食生活の変容にはつながらないので、親の世代の体験を推進するべきである。

調査から見てきた体験の効果

●食に対する意識の高まり

意識が強まった、機会が増加したと回答した人の割合
なるべく日本産を選んで食べる（73%）
食事はなるべく残さず食べる（71%）
栄養バランスのとれた食事を心がける（69%）
旬の食材を日々の食卓に取り入れる（62%）

●生産現場への理解や信頼が醸成

国産品の選択の理由（野菜）

作っている人を信頼できる
（体験あり：47%、体験なし：20%）
国産のものを応援したい
（体験あり：42%、体験なし：26%）

食や農林水産業の理解に
体験活動は
極めて有効

今後の方向性

幅広い世代に対しライフステージに応じた質の高い体験機会の提供を推進



学校でも
教科と関連付けた教材を活用し体験参加を促進。

会社でも
企業向け導入マニュアルを活用し研修、福利厚生、CSRでの体験参加を促進。



だれでも
全国農林漁業体験スポット、全国工場見学・市場見学一覧をホームページで公開。

消費者のライフスタイルの特性・ニーズに応じた食育の推進に向けた取組

食育活動データベース

取組対象に特徴のある、効果的な食育活動を紹介するデータベースを整備。

消費者ニーズ調査

どんな特性の人に、どんな食育メニューのニーズがあるのかを把握するための調査を実施。

食育実践者モニター

現場のニーズを把握したり、情報提供を行ったりするために、全国から食育実践者モニターを募集。

モデル的取組の支援

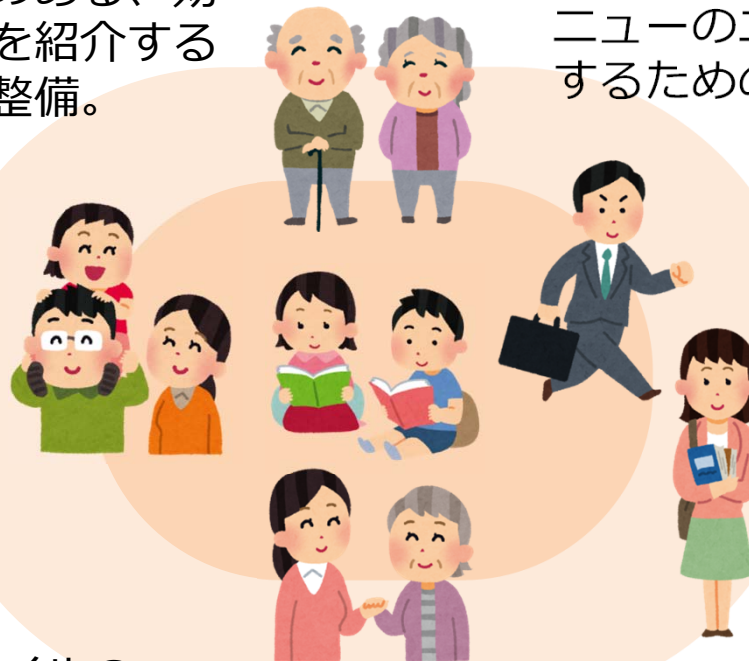
消費者の多様なライフスタイルの特性・ニーズに対応したモデル的な取組を支援。

食育実践ガイドブック

食や農林水産業への関心の低い人から高い人まで、ステップアップできる食育活動の提供にむけたガイドブックを作成。

地域活動の支援

食育推進リーダーの育成や、食や農林水産業への理解を深める教育ファームを支援。



「食育推進施策に関する有識者会議」 委員

一瀬 裕一郎	株式会社農林中金総合研究所 基礎研究部 主事研究員
江原 絢子	東京家政学院大学 名誉教授
上岡 美保	東京農業大学 国際食料情報学部 准教授
姜 明子	株式会社オレンジページ 常務取締役
香高 重美	一般社団法人共同通信社 編集局ニュースセンター 整理部委員・部次長
武見 ゆかり	女子栄養大学大学院 教授
中澤 弥子	長野県短期大学 生活科学科 教授
◎中嶋 康博	東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授
奈須 正裕	上智大学 総合人間科学部 教授
松本 謙	株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長

(50音順、座長は◎)